



Beyond KUSS , 2022 !!



先輩たちの状況(その3)

◆◇◆ 私立大学特別選抜 ◆◇◆

今週より9時始業、45分授業になっています。ほんの少し早く授業が始まり、ほんの少し授業時間が多くなっています。体調に気をつけ、前進していきましょう。

7回生の国公立大学特別選抜受験者は50名と紹介しています。私立大学等特別選抜受験者は51名とほぼ同数です。51名のなかに文部科学省所管外大学校受験者2名を含んでいます。

私立大学特別選抜は大きく2つに分かれます。1つは指定校制、もう1つは公募制。前者は国公立大学では一般的ではない選抜制度です。指定校制のなかに附属校限定選抜も含まれます。後者はさらに2つに区分することができます。1つは「従来型公募制」です。特別選抜ですが、大学の先生方が「探究型学力」や「志望力」を判断するのではなく、一般選抜同様の「受験学力」で合格判定を行います。もう1つは国公立大学特別選抜に近い選抜です。後者の場合、「受験学力」の判断レベルが低い場合もあり、問題視されています。

省略

これまでの推薦・AO入試は「従来型公募制」が主流でした。「高大接続システム改革」により、特別選抜でも知識・技能はもちろんのこと、思考力・判断力・表現力、主体性についても評価することが求められています。私立大学では「従来型公募制」を維持しつつ、新たな選抜方法を模索しています。

私立大学特別選抜において7回生は6回生までと異なる特徴がありました。従来の特別選抜の主流である「指定校制」と「従来型公募制」出願者が減少した点です。7回生私立大学等特別選抜51件のうち、21件がこれらに該当します。

私立大学等特別選抜実出願者数は35名、25.9%でした。6回生34%、5回生32%、それ以前の多い学年では40%近く出願していました。

国公立大学、私立大学問わず、特別選抜出願は「第1志望」に限定してください。「どこかに合格しておきたい」というような安易な気持ちでの出願は絶対にやめましょう。合格できるかどうかわかりませんし、出願の準備はそれなりに負担になります。「第1志望」でなく、「合格」だけを期待した特別選抜の不合格は、相当な衝撃です。特別選抜出願・受験準備の時期は、受験学力育成の最も重要な時期です。

「特別選抜に出願しなければならない」と焦る人は、受験全体が混乱してしまう可能性が高いです。特別選抜を考えている人、本当にその大学は「第1志望」ですか。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2022 』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いします。